

第2期
上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略
検証結果報告書

【令和6年度事業】

令和8年3月
上牧町

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

| 基本目標 | 基本的方向 | 施策 | 取組内容 |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------|--|
| 1. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 1. 地域による教育・子育て環境の充実 | ①子どもの学力向上支援 | ○ICTを活用した教育支援 ○学習支援教室（まきっ子塾）の開催 |
| | | ②子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト | ○学校を中心とした地域コミュニティ網の形成 ○学校支援事業の運営 ○学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進 ○学校と連携した読書活動の推進 |
| | | ③地域ぐるみの子育て支援 | ○情報交換拠点の整備 ○預かり保育事業の実施 |
| | | ④就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実 | ○就学前の学習環境の充実 ○特色ある乳幼児教室の開催 |
| | | ⑤多様な学びの場における支援 | ○通級指導教室（ペガサス教室）の充実 ○ほほ笑み教室の開催 |
| | | ⑥青少年の健全な育成 | ○様々な専門講座の開催 ○青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成 ○キャリア教育及び職業教育の実施 |
| | | ⑦グローバル人材の育成 | ○国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進 |
| | 2. 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 | ①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援 | ○出会い・結婚応援事業の実施 ○プレパパママ教室の開催 ○不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発 |
| | | ②子育ての希望を叶えるための支援 | ○乳幼児健診受診の促進 ○子育て世代への訪問型個別支援の拡充 ○子育て支援の充実 |
| | 2. 上牧町への新しい人の流れをつくる | 1. 既存ストックの利活用促進 | ①空き家活用プロジェクト |
| ②UR 住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進 | | | ○UR 都市機構等関係者との協議 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

| 基本目標 | 基本的方向 | 施策 | 取組内容 |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------|--|
| 2. 上牧町への新しい人の流れをつくる | 2. 若年層の UIJ ターン促進と関心・認知度の向上 | ①公共交通の利便性の向上 | ○上牧町地域公共交通会議の開催 ○コミュニティバスの利用促進 |
| | | ②関係人口・交流人口の創出 | ○観光プログラムの企画・周知・運営 ○イベント等におけるふるさと回帰・移住促進 PR 活動の実施 ○大学や企業との連携によるブランディングの推進 ○移住支援金事業 ○SNS を活用した情報発信と企画の実施 |
| 3. 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 1. 地域資源を活用した魅力創出 | ①公共施設の相互利用 | ○公共施設広域連携検討会の開催 |
| | | ②地域資源の整備 | ○史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進 ○かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業 |
| | 2. 地域住民との協働によるまちづくりの推進 | ①地域活動の支援・促進 | ○町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進 ○地域活動団体の設立及び活動支援 ○上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進 ○歴史ガイドボランティアの養成 |
| | | ②防災・防犯活動の支援・促進 | ○防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携 ○子ども防災意識の向上 ○防犯活動の支援 |
| 4. 誰もが働きやすい環境をつくる | 1. 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援 | ①ハローワークや町内事業者と連携した就職支援 | ○就職準備セミナーの開催 ○町内事業者とのマッチング支援 |
| | | ②子育てしながら安心して働ける環境の整備 | ○子育てと就労の両立の支援 ○子育てママ就業支援事業の実施 |
| | 2. 新たな雇用創出の支援・促進 | ①地域産業の活性化と担い手の育成 | ○就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援 ○地域資源を活用した商品開発と販路確保支援 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 教育総務課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ① 子どもの学習向上支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① ICTを活用した教育支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|-----------------|---|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 児童生徒の学習意欲の向上や学力の育成を図るため、情報化の進展、社会環境の変化に対応したICT環境の整備などを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 以下のとおり、ICT環境整備及びICT機器の運用面での支援を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Chromebook端末の設定変更 ● タブレットなど各種ICT機器の確保 ● 貸出用モバイルルーターの確保 <p>(ICT機器の運用面での支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県域GIGAスクール運営支援センターの整備(協議会参加) <p>【事業費(決算額：R06)】 ・ICT事業：5,936千円</p> | <p>B</p> | <p>【評価の理由・根拠】 運用面(ICT機器を活用した授業展開など)においては、ICT支援員の配置を令和4年度で終了し、GIGAスクール運営支援センターの支援に移行していく方針で進めていますが、十分な活用に至っておらず、ICT機器を活用した授業づくりの継続とICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保が課題となっています。 また、協議会に参加し次期校務支援システムの導入に向けたネットワークの整備要件の確認や、児童生徒一人一台端末(Chromebook)の更新に向けて効率的に整備を進められるよう検討を行いました。 これらのことから、ICT機器の運用面での支援に課題はありますが、ICT環境整備については検討を進められたため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、ICT環境の整備(維持管理)に努めるとともに、ICT支援員による支援の代替として、GIGAスクール運営支援センターの活用へ移行していけるよう引き続き働きかけていきます。 また、ICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保を図るため、ICTの研修の実施に向けた調整を行います。 その他、教職員の業務負担の軽減や児童生徒一人ひとりへの個別最適化した学びの提供を実現するための「校務支援システム」の導入を行います。あわせてネットワーク整備や児童生徒一人一台端末(Chromebook)の更新を行っていきます。</p> |

| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 教員向け研修開催回数(年間)【回】 | 2 対前年増減→ | 1 -1 | - -1 | - ±0 | - ±0 | | | 2 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 社会教育課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ① 子どもの学習向上支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学習支援教室（まきっ子塾）の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的としています。水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室などを利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度 参加児童・・・三校合計148名 (内訳) 上牧小学校 37人 上牧第二小学校 40人 上牧第三小学校 71人 実施回数・・・上牧小学校 24回 上牧第二小学校 27回 上牧第三小学校 24回</p> <p>保護者と児童に対してアンケート調査を実施し、148人中94人から回答がありました。おおむね高評価をいただきました。保護者からは「宿題をするように言わなくて済むようになった」「家でゆっくりすごせる時間が増えた」という意見がたくさんありました。家庭学習の定着を目的とした本事業の内容が、各家庭へ浸透しているものと評価できると思います。また、家庭の負担軽減にも効果があったのではないかと感じています。さらに、一部の保護者の意見として、「一緒に勉強するお友達がいるのが、楽しいと言っていました」、「親や学校の先生以外のかたに教わることや、クラスの友達以外のこと学習する経験が積めたことが良かったです。」などの声をいただきました。児童が楽しみながら学習することで、学習への意欲が高められたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校支援向上事業：5,222千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 保護者と児童に対してアンケート調査を実施し、おおむね高評価をいただいたので評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 児童のアンケート結果で「勉強時間中に周りが騒がしくて勉強に集中できなかった」という回答が複数ありましたが、自分の気持ちや感情をコントロールできないなどの配慮が必要とする児童も増えてきており、現在の自主的な学習活動の支援では対応が難しくなっています。 また、これらを含め、より充実した学習支援のため学習アドバイザーの確保も課題です。 令和7年度でまきっ子塾が開始して10年目となりますが、学習アドバイザーの数を増やすだけでなく、学習支援の方法を検討していく必要があると考えます。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-------------------|--------|-----|-------|------|-------|-----|-----|--------|
| 「まきっ子塾」参加児童満足度【%】 | - | - | 70.8 | 77.5 | 64.9 | | | 80.0 |
| | 対前年増減→ | ±0 | +70.8 | +6.7 | -12.6 | | | |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 社会教育課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----------|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 地域とともにあるより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は検討会議などは実施しませんでした。町内各小中学校を訪問し、学校の管理職とコミュニティ・スクール導入に向けての話し合いを行いました。地域学校協働活動（学校・地域パートナーシップ事業）を進めるうえで、学校とボランティアそして社会教育課の間で事業について齟齬があるなど、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入をスムーズに行うことが難しいと実感しました。</p> <p>【事業費（決算額：R6）】 予算計上なし</p> | B | <p>【評価の理由・根拠】 令和6年度は県主催の研修会に参加したり、県と事務局では会議を行いました。各小中学校の校長・教頭・コーディネーター、事務局を対象に検討会議などは実施しませんでしたので、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 コミュニティ・スクールの導入に向け社会教育課と教育総務課が共通認識のもと一体となって連携を深めていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）【回】 | 4 対前年増減→ | 1 -3 | 1 ±0 | 1 ±0 | - -1 | | | 5 |

取組内容② 学校支援事業の運営

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 主な活動として図書支援・環境支援、音楽科や家庭科を補助する授業支援などを行いました。小学校では登下校見守り支援も行い、児童の安全を守るため多くのボランティアに活動いただきました。また、令和6年度は、環境支援活動中の事故が近年で増えてきていることから、機械などの取り扱いに関する講習会を実施し、安全意識の向上を図る取組も行いました。地域人材の確保については、ボランティア募集のチラシを工夫し、毎年新しいデザインにすることで、目を引くものとなるよう努めました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：954千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 令和6年度のボランティア数は令和5年度に比べ減少していますが、各学校コーディネーターにより、ボランティアのバランスを考えた調整をしていただいたことで、限りある人材の中でも工夫して活動を維持できていると考えます。また、新しい取組として、ボランティアのための安全講習会を実施することができましたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。また、ボランティアの人材確保にも努めます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------|---------------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|
| 学校支援ボランティア登録者数（年間）【人】 | 238 対前年増減→ | 217 -21 | 254 +37 | 243 -11 | 232 -11 | | | 250 |

取組内容③

学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 ヒューマンライツセミナーを開催し、人権学習の継続と発展を推進します。指導者研修会を実施し、各関係機関の代表者を中心に参加を呼びかけ、実践力を高める研修会を実施します。</p> <p>【実施内容・成果（R6）】 ①11月21日（木） ペガサスホールでヒューマンライツセミナーin上牧を開催しました。 内容 「よくいきはじめ～いつまでも自分らしく～」 講師 佐々木慈瞳さん（公認心理師） 公認心理師として、医療や介護の現場で出会って来られたたくさんの人々との経験談や、感動の場面を語っていただきました。「自分の生き方が誰かの生き方をささえている」「自分らしく善くいきることが周囲に重なっていく」という主題を映像や事例を交えて紹介され、涙をさそいました。町PTA協議会と共催して実施しました。 アンケート満足度96%で、人権教育の講演会としては、過去最高の365人の参加者を記録しました。 参加者：365人（令和3年度：141人、令和4年度：236人、令和5年度：260人）</p> <p>②2月18日（火） 役場西館3階で「指導者研修会」を開催しました。内容「子どもの困り感に寄り添う～学校・家庭変われますか～」 講師 中村衛さん（奈良県家庭教育支援講師） 家庭教育講座と共催して実施しました。県教育委員会のフレキシスクール担当の中村さんに、不登校児童・生徒の実態から、求められている学校や家庭の変革について提示していただきました。さらに、子どもの困り感の捉え方や「認めること」の大切さ、声のかけ方まで、具体的な場面をおして研修しました。 参加者 47人</p> <p>【事業費（決算額：R6）】 ・人権教育推進事業：1,301千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 KPIとして設定した「初めて参加した」人数が141人であり、各団体からの参加だけでなく、広報や自治会回覧版での呼びかけにより、一般参加が178人もあり、町外からの参加も30人と多く集めることができました。全体参加者も毎年最高を更新し続けているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 人権学習の継続と発展を推進するため、引き続き、ヒューマンライツセミナーin上牧や指導者研修会の実施を予定しています。ヒューマンライツセミナーin上牧については、秋頃に映画「破戒」の上映を予定しています。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---------------------------|-------------|-----|-----------|-----------|------------|-----|-----|--------|
| ヒューマンライツセミナー新規受講者数（累計）【人】 | - 対前年増減→ | - | 89 +89 | 73 -16 | 141 +68 | | | 50 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 文化振興課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学校と連携した読書活動の推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校と図書館が連携し、子どもが自由に本を選び、読書を楽しめる機会を創出していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 図書館の団体貸出、図書館訪問の受け入れや読み聞かせ、学童保育所でのブックトーク（1つのテーマに沿って数冊の本を紹介）を実施しました。図書館の団体貸出については、保育所・幼稚園・小中学校・学童保育所・養護学校へと貸出しました。 また、校長会・教頭会で、団体貸出についての周知を行い、教科書に沿ったおすすめ本リストなどを配布しました。 図書館訪問においては、見学以外に絵本の読み聞かせを行い、子どもたちが好きな本を自ら選んで借りる姿が見られました。訪問後におうちのかたと来館することもあり、利用促進へとつなげることもできました。 これらの取組を通して、子どもと本・子どもと図書館をつなぐきっかけづくりができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 図書館訪問の受入回数が保育所、幼稚園で増加傾向にあり、学校への団体貸出冊数も374冊から532冊に増加したため、評価はAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、学校と連携した読書活動の取組を推進していきます。 学校への団体貸出を継続していくとともに、さらなる周知も行っていきたいと考えています。 また、図書館ホームページの蔵書検索システムの利用について、小中学校へ啓発することで、子どもと図書館をつなぐ機会を提供していきたいと考えています。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---------------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 図書館の団体貸出を行う学校数（年間） 【校】 | 1 対前年増減→ | 2 +1 | 3 +1 | 4 +1 | 4 ±0 | | | 5 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|--------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | こども未来課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ③ 地域ぐるみの子育て支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 情報交換拠点の充実

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|--|-------------|--|--------------|--------------|--------------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 つどいの広場は乳幼児及び保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを推進し、保護者が安心して育児できることを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 2000年会館で「おひさま広場」「サロンぽけっと」を、ラスパ西大和内のささゆりルームで「サロンぽけっと」を実施しました。 「おひさま広場」では年齢別のクラスに分けて、ふれあい遊びや誕生日会などを実施し、子どもが同年代の保護者同士で交流できる場を提供しました。 「サロンぽけっと」では、小さい赤ちゃんが寝たままでも遊ぶおもちゃや就学前の子どもが体を使って遊ぶおもちゃなどが置いてあるの、きょうだいでも楽しめる環境を提供することができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・つどいの広場事業：4,540千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 利用者満足度は91.1%であり、目標値を上回ることができています。また、アンケートでは「楽しく通えている」や「友達とたくさん遊べる」などの意見があり、満足度が高いと考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 共働き世帯の増加による保育所入所者の増加に伴い、年々参加者は減少しています。 また、参加する子どもも低年齢化していますが、少子化・核家族化の進行、ネットやSNSが普及する社会で乳幼児をもつ保護者が孤立しないようにすることは必要だと考えられます。保護者同士が気軽に交流でき、相談できる環境を作ることで子育ての不安を軽減し、子どもの健やかな成長と保護者がこれからも上牧町で子育てをしていきたいと思ってもらえるような町づくりを推進していきます。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 情報交換拠点（つどいの広場・おひさま広場）の利用者満足度【%】 | - 対前年増減→ | 92.7 +92.7 | 96.0 +3.3 | 93.1 -2.9 | 91.1 -2.0 | | | 80.0 |

取組内容② 預かり保育事業の実施

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|--|---------------|--|---------------|-------------|---------------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧幼稚園において、幼児の健全な発達を図るとともに、保護者の子育ての支援をすることを目的に預かり保育を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和5年度に比べ、入園児数が増加したことにより預かり保育の実利用者数も増加し、実績値が増加しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・一時預かり事業：1,227千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 令和6年度の預かり保育の延べ利用者数が、目標値を上回ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も担当保育士、園長と連携しながら、利用希望者全員を受け入れる体制を維持していきます。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 預かり保育の延べ利用者数（年間）【人】 | 797 対前年増減→ | 888 +91 | 1,107 +219 | 945 -162 | 1,240 +295 | | | 1,100 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 教育総務課 |
| 基本的方向 | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就学前の学習環境の充実

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 生きる力の基礎となる豊かな感性・意欲・態度を養うとともに、幼児の長所や可能性を伸ばすことを目的に、就学前教育を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度においては、下記の取組を通じて就学前教育の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●英語教育の充実 園児の段階から英語教育や情操教育を推進するため、外国人講師を招き、英語指導をしていただきました。多くの園児が歌やダンスなど、遊びを通じて英語を自然と身につけることができていました。 ●体育教育の充実 園児の基礎体力の向上を図るため、民間のスポーツ指導講師に授業を担当していただきました。運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。 また、休み時間に体育教室で習った縄跳びや鉄棒などに自分から取り組む姿も見られ、以前より体を動かすことや運動に意欲的な園児が増えました。 ●特別支援教育の充実 支援を必要とする園児に対し、個々のニーズに合った指導をするため、特別支援スタッフを配置し、園児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めました。園内で指導方針を共有することで、子どもたちが自分のできることは見守り、困ったときにはすぐに手を差し伸べるなど、それぞれの子どもたちに寄り添った支援ができていると考えます。 ●小学校との連携 令和6年度は、幼稚園教諭が小学校3校を訪問し、校内の様子や校長先生、1年生の担任教員からのメッセージなど、撮影したものを編集し、動画にして園児に見てもらったほか、入学説明会の際には、学校体験(半日入学体験)の機会を設けました。 また、お別れ遠足では学校巡りを行うなど、様々な取組の実施を通じて幼・小連携の充実を図ることができたのではないかと考えます。 <p>【事業費（決算額：R06）】 ・就学前教育事業（英語・体育）：642千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 英語教育、体育教育、特別支援教育の充実を図り、小学校との連携に係る様々な取組を進めたことにより、就学前教育の推進ができたと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、就学前の学習環境の充実を図るため、令和7年度は幼小接続研修を実施するとともに、毎年度実施している保護者へのアンケート（幼稚園運営に関するアンケート）結果を踏まえ、ニーズなどに応えられるよう、新たな取組や改善について検討していきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 幼稚園児と小学校児童との交流回数（年間）【回】 | - | - | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| | 対前年増減→ | ±0 | +1 | ±0 | ±0 | | | |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|--------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | こども未来課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 特色ある乳幼児教室の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 英語知育教育や和太鼓指導などの、第1保育所ならではの特色ある乳幼児教室を開催します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 第1保育所において、3歳から5歳児を対象とした英語知育教育を実施しました。3歳、4歳児は隔月、5歳児は毎月1回外国人講師を招き、英語の歌を歌ったりダンスを踊ったりすることにより、英語を身近に感じながらリズム感を養うことができました。 また、和太鼓指導は、毎月1回講師を招き、5歳児を対象に実施しました。</p> <p>令和6年度は生活発表会やペガサスフェスタにおいて、練習の成果を披露することができました。ペガサスフェスタではペガサスホールの大きな会場でたくさんの方の前で披露し、緊張しながらも頑張る姿を見ることができました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・町立第1保育所事業（和太鼓指導・英会話教育）：567千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 英語知育教育及び和太鼓指導については、子ども達もとても楽しみにしており、身体能力、リズム感、集中力を養うことが出来たため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 英語知育教育、和太鼓指導のほか、園庭での菜園活動やミュージックケアなどを実施していますが、子どもたちの感想や意見などに耳を傾け、よりよい事業となるよう更に充実を図ります。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------|--------------|----------|----------|----------|----------|-----|-----|--------|
| 乳幼児教室開催数（年間）【回】 | 36 対前年増減→ | 36 ±0 | 36 ±0 | 36 ±0 | 36 ±0 | | | 36 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 教育総務課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ⑤ 多様な学びの場における支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 通級指導教室（ペガサス教室）の充実

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成25年9月に開設した通級指導教室「ペガサス教室」において、個々の教育ニーズに合った指導を行っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、上牧町と河合町で運営を行い、コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童生徒（小学生54名（上牧町38名・河合町16名）、中学生16名（上牧町のみ））に対し、指導員が寄り添いながら必要な支援の提供を行いました。 また、就学前の幼児への支援から切れ目なく特別な教育課程による指導を中学校に至るまで展開しているほか、ニーズに応じて指導員が対象児童生徒の在籍校まで赴いて指導を行う訪問型の通級指導についても継続して行いました。 「ペガサス教室」の運営に当たっては、指導方法の創意工夫や他の教職員に対する指導助言などが奏功し、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童生徒の成長が見られました。 また、教育相談に丁寧に対応することで、保護者の不安の解消・緩和にもつながったのではないかと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・通級指導教室（ペガサス教室）運営事業：904千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 指導員一人ひとりの尽力により、児童生徒の成長が見られることに加え、丁寧な相談対応により保護者の不安の解消・緩和につながっていると考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も継続していきますが、指導時間や回数などの要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していくとともに、引き続き通級指導担当以外の教職員の通級指導教室に対する理解を深めていくことや小中学校の連携などに取り組んでいきます。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|----------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 通級指導教員数【人】 | 4 対前年増減→ | 5 +1 | 6 +1 | 6 ±0 | 5 -1 | | | 5 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 健康推進課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ⑤ 多様な学びの場における支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① ほほ笑い教室の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----------|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 保育園や幼稚園で集団活動が苦手な幼児に対して、個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ほほ笑い教室参加者の保護者を対象に、療育支援教室の評価とアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に調整し5段階評価にて行い、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえました。参加人数は15名でした。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・ほほ笑い教室事業:1,712千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 ほほ笑い教室参加者や保護者のニーズに沿って教室のプログラムや保護者の支援を行ったことで、参加者や保護者にとって満足度が高かったと考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援も行います。支援が必要な幼児が少しでも早期に通級などの支援に至るよう、細やかな相談を行い、関係機関との連携をはかります。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---------------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----|-----|--------|
| ほほ笑い教室利用者満足度【5段階評価】 | 4.7 対前年増減→ | 4.6 -0.1 | 4.8 +0.2 | 4.6 -0.2 | 4.6 ±0 | | | 4以上 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 社会教育課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ⑥ 青少年の健全な育成 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 様々な専門講座の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|---|-------------|---|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施します。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 令和6年度は、理科の実験・工作教室(3回)、木工教室(1回)、茶道教室(1回)、プログラミング教室(1回)を実施しました。 理科の実験・工作教室では新規の講座として化石のレプリカ作りを行うなど、多様な講座に参加する機会を設けるため、新しい講師を招いて実施することができました。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・学校・地域パートナーシップ事業：109千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 令和5年度と同じ開催回数ですが、例えば、木工教室であれば、令和5年度にイス作りを行ったのに対し令和6年度は木の端材を使った自由工作を実施したように、内容に変化をつける工夫を行いましたので評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 理科好きの子どもへの育成を目的として引き続き理科の実験・工作教室を主として実施していきます。 また、アンケート結果などを踏まえ、学校の授業では体験できないような専門的な体験講座の開催に努めていきたいと考えます。</p> | | | | | | |
| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 専門講座開催回数【回】 | 6 対前年増減→ | 3 -3 | 6 +3 | 6 ±0 | 6 ±0 | | | 6 |

取組内容② 青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|--|-------------|--|---------|----------|---------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 青少年の健全な育成を目的に実施します。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的に、約30年前に始まりました。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 令和6年度は、野外活動3回(洞川地区で川魚つかみ取り体験・鍾乳洞見学、馬見丘陵公園やならまちを歴史散策)と宿泊研修、工作などの研修7回を実施しました。 野外活動時には、班行動により中学生の生徒が小学生の児童をリードするなど、お互いに助け合う姿が見られ、様々な経験を通して充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・ジュニアリーダー研修事業：270千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 令和6年度の新規登録者数は、令和5年度に比べ減少していますが、新規募集対象の小学校5年生以外の小学校6年生にも範囲を広げ募集を行いました。また、研修参加者にも随時声掛けを行い、参加者の確保に努めましたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、野外活動や宿泊研修などを継続的に実施していく予定です。 また、ジュニアリーダー研修生の中には、小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数いることが課題として挙げられるため、募集時の案内チラシの内容をブラッシュアップするなど、参加者の確保に努めます。</p> | | | | | | |
| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| ジュニアリーダー研修新規登録者数(年間)【人】 | - 対前年増減→ | 16 +16 | 7 -9 | 11 +4 | 8 -3 | | | 10 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 教育総務課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ⑥ 青少年の健全な育成 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① キャリア教育及び職業教育の実施

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧町に対する愛着や誇りを育むとともに、働くことの意義や目的の理解、働く意欲や態度を学ぶことを目的に、毎年中学2年生を対象に職業体験を実施していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 令和6年度においては、下記のとおり職業体験などを行いました。 (上牧中学校) 県内最大規模の企業であるDMG森精機株式会社のほか、大和ハウス工業株式会社、大峰堂薬品工業株式会社を訪問し、職業体験を実施しました。(生徒97人参加) 今回は、それぞれの企業の施設見学や従業員のかたから業務内容や開発などに関する説明、体験談などをお聞かせいただきました。貴重な体験をさせていただいたことで、就労に関する理解と意欲の向上につなげることができたと考えます。</p> <p>(上牧第二中学校) 職業体験として、奈良県教育委員会主催の県内企業訪問によるキャリア形成事業に参加し、DMG森精機株式会社(伊賀事業所)、SINDOYARDS(シンドウヤード)を訪問しました。(生徒37人参加) また、町内事業者(上牧幼稚園、片岡台幼稚園、やまびこ保育園、社会福祉法人郁慈会、上牧町立図書館、西大和片岡台郵便局、MEGAドン・キホーテラスバ西大和店、ディオ上牧店、ファッションセンターしまむら上牧店、柿の葉寿司本舗たなか西和店、株式会社上杉食品、美容院サロンドポプリ)の協力を得て、職場体験を実施しました。(生徒46人参加)受入先では、保育補助や会議補助、清掃活動、商品管理、接客などの体験を通じて、喜びや達成感を感じるとともに、社会人としての基本的なあいさつや礼儀、マナー、働くことの大切さ、責任感を学ぶことができるなど、参加した生徒の職業観の形成に役立ったと考えます。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・職業体験事業：11千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 当該事業については、例年、企業や地域事業者の協力を得て、生徒の就労に関する理解と意欲の向上、職業観の形成に役立っていますが、令和6年度は、県の事業を活用することで事業内容のさらなる充実を図ることができたと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、職業体験や職場体験を実施しますが、特に職場体験は、受入事業者の負担が大きくなっていると思われるので、受入先の負担を最小限にとどめられるよう努めます。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 県内企業や地域との交流活動回数(年間)【回】 | 2 対前年増減→ | 2 ±0 | 2 ±0 | 2 ±0 | 3 +1 | | | 3 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-1 地域による教育・子育て環境の充実 | 教育総務課 |
| | 地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。 | |
| 施策 | ⑦ グローバル人材の育成 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校教育事業の一環として、中学生の外国語に対する興味・関心をさらに深め、他国の中学生との交流を通じて異文化に触れることにより、相互理解の推進、国際感覚豊かな人材の育成を目的として、国際交流事業を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年7月に上牧町立中学校の代表生徒25名を台湾・桃園市立桃園國民中學へ派遣し、授業交流や桃園國民中學学生宅でのホームステイ体験を通じて交流を行いました。 当事業の実施により、生徒の外国語や異文化に対する関心・理解度を高めるとともに、学校間の友好関係の強化を図ることができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・国際交流事業：6,738千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 派遣生徒が他国の同世代の学生と直接交流し、現地の台湾文化に触れて理解を深めたことで、英語を含む他言語での交流、また国際社会への関心を広げることができたと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度は本来、上牧町立中学校が桃園國民中學学生の受入事業を行うタイミングですが、新上牧中学校新校舎の工事期間中であり受入の実施が難しいため、令和8年度以降に交流を再開予定です。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 国際交流事業実施回数（累計）【回】 | - | - | - | 1 | 2 | | | 5 |
| | 対前年増減→ | ±0 | ±0 | ±1 | +1 | | | |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|--------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 | こども未来課 |
| | 近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。 | |
| 施策 | ① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 出会い・結婚応援事業の実施

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|--|-------------|--|---------|---------|----------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町で結婚を希望される独身のかたを対象に出会いの場や情報を提供します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ①婚活イベントの開催（2回開催、参加者：男17名・女12名） 結婚を希望する男女に出会いの場として参加体験型の婚活イベントを開催しました。イベント参加者にはフォローアップを行い、カップル成立の有無は関係なく希望者に対し、サポーターが相談に乗り、希望者には結婚希望登録制度への登録を勧め、継続した支援を行いました。 ②個別相談会の開催（12回、定員各4組） 結婚を希望する男女及びその親族に対して個別の相談会を毎月1回開催しました。 これらのサポーターの活動により、令和6年度は5組が成婚となりました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・出会い・結婚・子育て応援事業：720千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 着実に成婚者数の実績値が増加しており希望に沿った結婚支援ができていると考えるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、非営利活動法人かんまきマリッジサポート赤い糸として活動するマリッジサポーターとともに、結婚を希望する男女に対してそれぞれにあった結婚につなげる支援を進めていきます。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 出会い結婚応援事業による成婚者数（累計）【組】 | 4 対前年増減→ | 5 +1 | 7 +2 | 9 +2 | 14 +5 | | | 15 |

取組内容② プレパパママ教室の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|---|----------------|---|--------------|--------------|--------------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 妊娠届出時にプレパパママ教室への参加の勧奨を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 プレパパママ教室を月1回開催（年12回）開催しました。 参加者は令和6年度実績、実人数31名（妊婦17名、夫14名）・延べ人数56名（妊婦32名、夫24名）です。 経年実績（延べ人数）としては、47名（R元）、77名（R2）、72名（R3）、64名（R4）、65名（R5）です。 参加者満足度は全教室の平均4.9（5段階評価）でした。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・プレパパママ教室事業：30千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 出産病院で産前教室が再開されたことや経産婦のかたがいたため、令和5年度より参加者割合は減少しましたが、参加者の満足度は令和5年度と同様に高い評価が得られているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も継続してアンケートを実施し、プレパパママ教室の満足度やニーズを把握し、視覚教材などの媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指していきたいと思います。 妊娠届出時の面談にて教室の勧奨を行うとともに、ホームページ及び子育てモバイルでの周知を図ります。広報では参加者の感想を掲載します。 プレパパママ教室を月1回開催します。 A日程：妊婦体験や沐浴体験、家事育児の見える化ワークなど B日程：分娩の話、栄養士のお話など C日程：産後の話、育児体験、母乳育児など</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| プレパパママ教室参加割合【%】 | 31.5 対前年増減→ | 21.1 -10.4 | 28.0 +6.9 | 29.4 +1.4 | 19.5 -9.9 | | | 30.0 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 | 健康推進課 |
| | 近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。 | |
| 施策 | ① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 不妊治療または不育治療を受けている夫婦に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 制度の認知度向上のため、年2回広報へ記事を掲載し、近隣の産婦人科へチラシを配布しました。令和5年度からは就学前までの子どもがいる転入者へ不妊・不育治療助成事業のチラシを渡していますが、妊娠届出時に認知度アンケートを実施し、よく知っている・名前だけ知っていると回答した人は44人で44.9%と、令和5年度から減少しました。しかし、令和6年度の不妊治療申請件数は29件、不育治療申請件数は1件と令和5年度の不妊治療申請件数19件から大幅に増加しており、必要なかたへの制度の認知度は向上していると考えられます。 令和6年度に不妊・不育治療費助成申請者29人のうち15人が妊娠されました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・不妊不育治療費助成事業：1,689千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 申請状況は前年より大幅に増加しており、助成が必要なかたへの制度の認知度が向上していると考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 晩婚化や出産年齢の高年齢化のもと、令和4年度からの不妊治療の保険適用、県内外の不妊治療技術の向上なども追い風となり、今後申請者数は増加することが予測されます。少子化対策は喫緊の課題であり、また不妊治療内容の高度化もあり、より一層の制度の充実が望まれていると考えられます。今後も制度が必要なかたへの制度が周知できるよう、広報、ホームページ、健診の場などで啓発するほか、個別に周知できるよう近隣の産婦人科でのチラシ配布を継続します。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育治療助成事業のチラシの同封を継続します。 制度の認知度の把握のため、令和7年度も妊娠届出時のアンケートを継続し、認知度の定着を確認するために3歳児健康診査時にもアンケートを拡大して実施します。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----|-----|--------|
| 不妊・不育症治療助成事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）【%】 | 53.6 対前年増減→ | 50.4 -3.2 | 43.5 -6.9 | 50.0 +6.5 | 44.9 -5.1 | | | 100 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 | 健康推進課 |
| | 近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。 | |
| 施策 | ② 子育ての希望を叶えるための支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 乳幼児健診受診の促進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 乳幼児期における身体発育及び精神発達の健全な育成のため、健康診査を実施し、異常の早期発見・予防をします。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 乳幼児健診については、3・10か月健診：10回、1歳8か月健診：5回、2歳児歯科検診：4回、3歳児健診：5回、を予定通り実施しました。混雑緩和のため、案内時間を区切って数組ずつ案内しています。諸事情で未受診となったかたについては、来所や訪問で現認しています。 2歳児歯科検診においては、令和5年度よりフッ素塗布とブラッシング指導を再開しています。歯垢染色は飛沫による感染リスクが高いため、コロナ禍以降中止している状況です。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・乳児健診事業：453千円 ・幼児健診事業：703千円 ・母子歯科保健事業：96千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 いずれの乳幼児健診も安全に実施できました。また、健診の受診率は95%以上で、未受診者に関しても確実な把握に努めています。そのため、評価をAとしています。(※KPIについては、検診日当日に受診できた子どもの受診率を表しており、検診日当日に受診できなかった子どもについては後日2000年会館への来所や自宅訪問により子どもの様子を確認できているため、未把握者はなし。)</p> <p>【今後の取組方針】 医師会や歯科医師会と連携を図りながら、円滑に乳幼児健診を実施していきます。令和7年度は、対象者が多く、待ち時間短縮のため、1歳8か月健診と3歳児健診ともに実施回数を6回に増やす予定です。2歳児歯科検診の内容については、今後も歯科医師会と協議していきます。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|----------------|----------------|--------------|--------------|---------------|--------------|-----|-----|--------|
| 乳児健診受診率【%】 | 95.5 対前年増減→ | 92.9 -2.6 | 98.0 +5.1 | 100.0 +2.0 | 97.8 -2.2 | | | 100 |
| 幼児健診受診率【%】 | 89.7 対前年増減→ | 87.9 -1.8 | 93.8 +5.9 | 95.3 +1.5 | 97.1 +1.8 | | | 100 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|--------|
| 基本目標 | 1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える | 担当課 |
| 基本的方向 | 1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 | こども未来課 |
| | 近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。 | |
| 施策 | ② 子育ての希望を叶えるための支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育て世代への訪問型個別支援の拡充

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 おおむね生後3か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行い、養育環境などの把握や助言を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、80件（延べ86件）赤ちゃん訪問を実施しました。実施率100%でした。 また、訪問後も支援が必要な家庭は、地区担当保健師へ支援をつなぐとともに、母子保健事業会議で情報共有を図りました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・赤ちゃん訪問事業：256千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 訪問対象80件のうち、全ての家庭へ赤ちゃん訪問を実施することができたので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 出産後は全戸赤ちゃん訪問を実施し、新生児の発育などの確認や育児など全般に指導・助言をし、子育てに関する情報提供を引き続き行います。 また、アンケートにて事業満足度を評価します。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|--------------|----------------|--------------|--------------|---------------|-------------|-----|-----|--------|
| 赤ちゃん訪問実施率【%】 | 98.0 対前年増減→ | 94.3 -3.7 | 95.3 +1.0 | 100.0 +4.7 | 100.0 ±0 | | | 100 |

取組内容② 子育て支援の充実

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 子育て中の保護者と子どもを対象とした子育てを応援するため、子育て支援セミナーを行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 感覚運動遊びを通して体幹やバランス遊びを行いながら、親子でふれあい遊びを実施し、からだの土台づくりを図りました。ペガサスフェスタにおいて先着親子10組を対象に開催しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 参加者の声として、「とてもよかった。」「子どもが楽しんでよかった。」とあり、満足度は高いと考えるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 子育て中の保護者の子育てを応援するために、子育て支援セミナーを今後も開催していきます。健康や育児などに親子で楽しめる内容を検討し、親子で充実した時間を過ごせるようなセミナーを開催します。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------------|-------------|---------|-----------|----------|----------|-----|-----|--------|
| 子育て支援セミナー参加延べ人数（年間）【人】 | - 対前年増減→ | - ±0 | 18 +18 | 18 ±0 | 26 +8 | | | 40 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 2

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|----------|
| 基本目標 | 2 上牧町への新しい人の流れをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 2-1 既存ストックの利活用促進 | まちづくり推進課 |
| | 町内の既存住宅を地域の実情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅（多様な住まい、住まい方）供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。 | |
| 施策 | ① 空き家活用プロジェクト | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容①

空き家利活用の推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----------|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源としての利活用に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 空き家・空き地バンクへの物件の登録について、空き家所有者などからの新規相談が9件あり、所有者立会いの下の現地調査は7件行いました。そのうち1件が、上牧町空き家バンクへの登録へ至りました。 空き家・空き地バンクの物件の利用登録について、新規相談が33件、利用者登録は14件あり、内覧は3件ありましたが、新たな利活用に至った物件はありませんでした。 また、税務課から発出される固定資産税通知に空き家バンク登録に関する案内も同封し、空き家利活用の促進を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・空き家対策事業：203千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 空き家所有者に空き家バンクの紹介を地道に行っていた結果、空き家物件を1件登録することができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続きNPO法人空き家コンシェルジュの協力のもと、空き家の利活用に結びつくよう登録物件所有者との交渉や利活用に向けた提案を行っていきます。また、全国での空き家利活用の成功事例などについても調査・研究を行い空き家・空き地バンクの活用を推進します。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 空き家・空き地バンク登録件数（累計）【件】 | 4 対前年増減→ | 4 ±0 | 4 ±0 | 6 +2 | 7 +1 | | | 15 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 2 上牧町への新しい人の流れをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 2-1 既存ストックの利活用促進 | 企画財政課 |
| | 町内の既存住宅を地域の実情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅（多様な住まい、住まい方）供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。 | |
| 施策 | ② UR住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① UR都市機構等関係者との協議

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 西大和片岡台団地において、高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担う生活支援アドバイザーが令和3年度から配置されたことに伴い、活動状況の報告をいただきました。また、都市計画についての内容など、近隣のURの動向など、情報交換を行いました。</p> <p>■活動報告 《生活支援アドバイザー》 折紙講座、モルックサークル活動、認知症サポーター養成講座 《上牧町地域包括支援センター》 認知症サポーター養成講座 《その他》 鷹の飛翔デモンストレーション、はじめてのスマホ教室、多文化共生×防災イベント、マリンパデュオコンサート</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | B | <p>【評価の理由・根拠】 生活支援アドバイザーの設置など、高齢者向けの施策については、一定程度進んでいますが、若者世帯向けの施策についての取組が必要であると考えていることから評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度や若者に好まれる環境整備など、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望などを行います。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）【回】 | 3 対前年増減→ | 5 +2 | 3 -2 | 2 -1 | 1 -1 | | | 4 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 2

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|----------|
| 基本目標 | 2 上牧町への新しい人の流れをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 2-2 若年層のUIJターン促進と関心・認知度の向上 | まちづくり推進課 |
| | 少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。 | |
| 施策 | ① 公共交通の利便性向上 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 上牧町地域公共交通会議の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| 【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な地域公共交通の形成に資する、地域公共交通の活性化に取り組めます。 | B | 【評価の理由・根拠】 鉄道駅のない上牧町にとって、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズを把握すること、およびそのニーズや課題解決に取り組む協議会を組織する必要があります。そのため、庁内の関係部局が把握しているニーズを出し合い、課題をまとめ公共交通機関との協議へ進める必要があるため、評価をBとしています。 |
| 【実施内容・成果（R06）】 庁内の公共交通関係部局（総務課、福祉課、生き活き対策課）とともに課題の洗い出しを行い、検討を行う内部検討会を令和5年に引き続き実施しました。 また、県内の先進地におけるAIオンデマンド交通の導入事例について研究し、あわせてAIオンデマンド交通のシステム事業者との協議も行いました。 | | 【今後の取組方針】 県内外の取組事例を調査・研究し、上牧町の交通課題の解決に向け地域公共交通会議の立ち上げに向け前向きに検討します。 |
| 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし | | |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|--------|
| 上牧町地域公共交通会議開催数（年間）【回】 | - 対前年増減→ | - ±0 | - ±0 | - ±0 | - ±0 | - ±0 | | 2 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-----|
| 基本目標 | 2 上牧町への新しい人の流れをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上 | 総務課 |
| | 少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。 | |
| 施策 | ① 公共交通の利便性向上 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① コミュニティバスの利用促進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティバスの存在の周知及び利便性の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和5年度にダイヤ改正、バス停の増設などを行い、令和6年度も安定した運行を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・コミュニティバス運行事業：34,130千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 要望やクレームなどはあるものの、ドライバーのかたへの感謝やお礼のお言葉、また、気持ちよく乗車できた便利になったなどの嬉しいお声を多数いただいています。 その反面、駅への乗り入れや17時以降の運行希望の要望などのお声も聞いています。しかしながら、昨年度より、約4,500人増のご乗車をいただいております。住民のみなさんの交通手段のひとつとして定着してきていると考えます。そのため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 住民のみなさんからの様々な要望や運行中に生じる課題について、今後も引き続き検討、研究をしていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-----|-----|--------|
| コミュニティバス延べ利用者数（年間）【人】 | 42,699 対前年増減→ | 54,747 +12,048 | 66,141 +11,394 | 79,585 +13,444 | 84,127 +4,542 | | | 60,000 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|----------|
| 基本目標 | 2 上牧町への新しい人の流れをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 2-2 若年層のUIJターン促進と関心・認知度の向上 | まちづくり推進課 |
| | 少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。 | |
| 施策 | ② 関係人口・交流人口の創出 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 観光プログラムの企画・周知・運営

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 自然環境・文化資源の保全や魅力の発信、新たな観光プログラムの企画・周知・運営に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 観光プログラムの企画・周知・運営について、観光案内所3か所（橿原市2か所、明日香村1か所）、天理市の道の駅に新たに作成した上牧町ウォーキングマップを設置し周知に努めました。 また、馬見丘陵公園のイベント3回、ウォーキングイベント、おもしろ歴史フェスティバルに参加し上牧町の認知の向上に努めました。 奈良県北西部の地域資源を活かした観光振興に資する特色ある総合的な取組を行う自治体との連携及び支援を行うことを目的とした「WEST NARA広域観光推進協議会」に参加し、本町の観光振興に取り組みました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・WEST NARA広域観光推進協議会事業：700千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 他市町村のイベントや「WEST NARA広域観光推進協議会」に参加及び上牧町ウォーキングマップを活用した本町の知名度向上に努めたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 他市町村のイベントや「WEST NARA広域観光推進協議会」に参加し観光振興に取り組むとともに、新たに作成した上牧町ウォーキングマップを活用し、魅力を発信していきます。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 観光イベントの実施・参加回数（年間）【回】 | - | 3 | 4 | 6 | 5 | | | 2 |
| | 対前年増減→ | +3 | +1 | +2 | -1 | | | |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 2 上牧町への新しい人の流れをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上 | 企画財政課 |
| | 少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。 | |
| 施策 | ② 関係人口・交流人口の創出 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月21日から4月15日まで夜桜のライトアップを実施し、3月29日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。</p> <p>さらに、令和5年度から広域観光の取組としてスタートした「御墳印帖プロジェクト」において、各町の観光資源及びモデルとなる周遊ルート掲載した周遊エリアマップを更改したほか、東京都港区にある奈良まほろば館にて歴史講座を開催し、2日間で37名のかたにご参加いただきました。</p> <p>令和6年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印322枚、御墳印帖を19冊売り上げました。</p> <p>令和5年度に引き続き、「メタセコイアイルミネーション」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を知ってもらう・訪れてもらうための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・ペガサスフェスタ開催事業：4,481千円 ・ライトアップ事業：380千円 ・PRキャラクター活用推進事業：307千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 令和5年度から引き続き実施する事業であっても、年度によって実施内容を改良することで、効果的に上牧町のPRを行っていると考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」などの取組を推進し、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---------------------|--------|-------|------|------|------|-----|-----|--------|
| プロモーション活動・媒体の認知度【%】 | 50.6 | 38.2 | 40.4 | 33.3 | 35.7 | | | 60.0 |
| | 対前年増減→ | -12.4 | +2.2 | -7.1 | +2.4 | | | |

取組内容② 大学や企業との連携によるブランディングの推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町をPRするために、ふるさと納税制度を活用した地域ブランディングを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ふるさと納税の返礼品を掲載するサイトを追加し、合計3サイトで運営を行いました。返礼品については、協力事業者は、累計15事業者の登録で、返礼品として累計164品目（令和5年度比+58品目）の登録となりました。令和6年度の寄附額は14,178,000円（令和5年度比+3,645,000円）という結果となり、掲載サイトを増やした結果、令和5年度に引き続き寄附額が増収となりました。</p> <p>特産品開発支援補助金については、特産品の開発・改良に対する補助金制度（特産品開発支援補助金）を令和5年度に引き続き実施しました。2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発が行われました。</p> <p>また、企業版ふるさと納税については、奈良県と共同で運営する協議会で作成したパンフレットを用いて、上牧町の企業版ふるさと納税についてアピールを行いました。</p> <p>（寄附件数・金額） ・奈良県企業版ふるさと納税連絡協議会を通じた寄附：1件（770,000円） ・その他企業からの申出：3件（6,000,000円）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・ふるさと納税事業：6,316千円 ・特産品開発支援補助金事業：426千円 ・奈良県企業版ふるさと納税推進事業：11千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 ふるさと納税返礼品掲載サイトの増設や特産品開発支援補助金を通じて新たな返礼品の開発補助などに加え、企業版ふるさと納税制度のアピールなどを実施したことで上牧町のPRを行えたと考えていることから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、ふるさと納税を通じた上牧町のPR・ブランディングを進めていきます。 その他、企業版ふるさと納税を通じて企業との連携が図れるように制度を整備していきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|----------------------|-------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-----|-----|---------|
| ホームページへのアクセス数（年間）【件】 | 287,870 対前年増減→ | 461,429 +173,559 | 274,794 -186,635 | 253,220 -21,574 | 230,000 -23,220 | | | 500,000 |

取組内容③ 移住支援金事業

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 奈良県と連携し、県内企業などの人材不足の解消と町内への移住・定住を促進させるため、東京圏から移住し、県内での就業や起業をしようとするかたに対し支援金を給付しています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は周知活動として、広報6月号への掲載などを行いましたが、申請はありませんでした。 また、本補助金制度の拡充を目的として、対象者に「関係人口」を追加する要綱改正を行いました。（令和7年4月1日施行）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・東京圏からの県内就労促進移住支援金事業：0円（予算：1,000千円）</p> | B | <p>【評価の理由・根拠】 令和5年度に引き続き奈良県と連携して事業展開しているものの、申請件数が少ないことから評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、奈良県と連携し事業を進めていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 移住支援金申請件数（年間）【件】 | - 対前年増減→ | - ±0 | 1 +1 | - -1 | - ±0 | | | 1 |

取組内容④ SNSを活用した情報発信と企画の実施

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 SNSを通して上牧町への関心を高める企画などの情報を発信することで、町の認知度向上及び魅力発信につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 町制施行50周年記念事業の一環として制作された町PRキャラクターがイベントなどへ参加する機会が増え、SNSでの情報発信を推進することができました。 上牧町ホームページ内「ゆりはちゃんの活動日記」において、ゆりはちゃんが出席したイベントなどの写真・文章を掲載したほか、ゆりはちゃんの出演情報をホームページで事前に告知するなどしました。 また、他市町村のSNSに掲載していただく機会もあり、県内外問わず多くのかたに上牧町を知ってもらうよいきっかけとなりました。 その他、広報活動の一つとして、町公式SNSのInstagramにおいては、町から情報発信をするだけでなく、町の魅力に関する投稿を募集し、紹介する取組を行っており、町の魅力を共有する場としての活用を行いました。 （秘書人事課事業）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・PRキャラクター活用推進事業：307千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 年間を通して積極的に町PRキャラクターの活用を行ったほか、SNSを活用し多くのかたと交流が出来る機会を設けるなど、上牧町の知名度アップにつながる取組を推進できたと考えていることから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も、秘書人事課と連携しながら、町PRキャラクターを活用したSNSでの情報発信を進め、町や町PRキャラクターの認知度向上に努めていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----|-----|--------|
| SNSの延べフォロワー数【人】 | 2,500 対前年増減→ | 4,271 +1,771 | 5,345 +1,074 | 5,864 +519 | 6,344 +480 | | | 5,500 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-----|
| 基本目標 | 3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 3-1 地域資源を活用した魅力創出 | 総務課 |
| | 住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。 | |
| 施策 | ① 公共施設の相互利用 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 公共施設広域連携検討会の開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|---|-----|-----|-----|-----|--------|--------|------|---|---|---|---|---|---|------|--------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 他市町村と連携することにより、効率的な施設運営を実施するための協議を重ねていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 広域連携検討会に4度参加し、他市町村と今後の方針を検討しました。検討会で公共施設の相互利用について、令和7年度からの本格運用に向けて対象施設の見直し、施設利用のルールを協議しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | B | <p>【評価の理由・根拠】 中和・西和広域連携について、令和7年10月1日からの本格運用に向けて、最終調整を行っています。 今後も、広域連携の充実に向けて、公共施設の相互利用実施自治体の拡大、対象施設の拡大、予約方法の簡素化、利用条件の共通化などの意見があげられているため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、公共施設の相互利用の充実に向けて、調査・研究を進めながら、本格運用後の施設利用者の推移をみていきます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>成果指標（KPI）の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準：R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> <th>R08</th> <th>目標：R08</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>対前年増減→</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 | 14.7 | - | - | - | - | - | - | 35.0 | 対前年増減→ | - | - | - | - | - | - | | | |
| 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14.7 | - | - | - | - | - | - | 35.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対前年増減→ | - | - | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 3-1 地域資源を活用した魅力創出 | 社会教育課 |
| | 住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。 | |
| 施策 | ② 地域資源の整備 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成27年10月7日に国指定された史跡上牧久渡古墳群の整備を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 史跡上牧久渡古墳群整備事業について、令和6年度は古墳群西側一部の擁壁工事等を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・史跡上牧久渡古墳群整備事業：68,886千円</p> | C | <p>【評価の理由・根拠】 令和6・7年度史跡上牧久渡古墳群整備工事において、施工方法を変更した際に、文化財保護法第125条に基づく現状変更の計画変更申請を行わず、承認を受けないまま作業スペース確保のために未承認で切土を行ったため、評価をCとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 無断で切土を行ったことについては、第一に、文化財保護法を遵守していなかったために起こったものです。 今後の対策としては、文化財保護法を遵守し、および現状変更の重要性・制約等について県等の指導を受けていきます。 また、工事内容については社会教育課事務職員では判断が難しい内容もあるので、当町技術職員（土木）を中心に検討し、適切な実施設計を十分に協議したうえで工事を進めていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------|----------------|------------|-------------|------------|--------------|-----|-----|--------|
| 史跡上牧久渡古墳群の整備【%】 | 40.0 対前年増減→ | 40.0 ±0 | 50.0 +10 | 55.0 +5 | 60.0 +5.0 | | | 100 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 3

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|----------|
| 基本目標 | 3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 担当課 |
| 基本的方向 | 3-1 地域資源を活用した魅力創出 | まちづくり推進課 |
| | 住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。 | |
| 施策 | ② 地域資源の整備 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせてライトアップを行いました。 かんまき笹ゆり回廊に案内板を設置し、伊邪那岐神社から片岡城跡入り口付近までの草刈りを行いました。 上牧町ウォーキングマップを新たに作成しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・芝桜植栽維持管理事業：999千円 ・笹ゆり回廊整備事業：1,316千円 ・滝川遊歩道草刈り委託事業：843千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 滝川遊歩道沿いにある芝桜のライトアップを実施したほか、笹ゆり回廊に案内板を設置し、伊邪那岐神社から片岡城跡の入り口付近までの道を草刈りして整備したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の案内板設置をしたことにより整備が完了しましたので、ウォーキングマップやHPなどを活用し、町内外に広く周知します。 またポケットパークを利活用した良好な景観づくりを検討します。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---------------------|----------------|------|------|------|-------|-------|-----|--------|
| かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】 | 47.0 対前年増減→ | 89.0 | 89.0 | 89.0 | 100.0 | +11.0 | | 100 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 担当課 |
| | 3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進 | 企画財政課 |
| 基本的方向 | 上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。 | |
| 施策 | ① 地域活動の支援・促進 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|--|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人材バンク」の取組を通じて、町民のまちづくりの参画機会の創出につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 新規登録はありませんでしたが、元々登録していた人材の庁内開催の各種審議会での委員や、まきっ子塾学習アドバイザーとして活用されました。</p> <p>(活用事例) ・まきっ子塾：5名 ・各種審議会委員：1名</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 予算計上なし</p> | C | <p>【評価の理由・根拠】 人材バンク制度については、登録者数及び活動人数が増えておらず、また、増やすための取組を推進することができていないため、評価をCとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、町民の参画機会創出につなげるため募集を行います。募集案内については、広報だけではなくSNSなども積極的に活用し、登録者数・活用人数ともに増やせるように進めていきます。 また、現在は資格・技能・経験などを持つかたに登録していただいておりますが、将来的には特別な資格などを持たなくても「まちや地域のために動きたい」といった想いを持っているかたにも参加してもらえるように整備を進めていきたいと考えています。</p> |

| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------------------|--------------|----------|----------|----------|----------|-----|-----|--------|
| 上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数(年間)【人】 | 7 対前年増減→ | 6 -1 | 4 -2 | 6 +2 | 6 ±0 | | | 20 |
| 上牧町まちづくり人材バンクの登録者数【人】 | 30 対前年増減→ | 30 ±0 | 37 +7 | 37 ±0 | 37 ±0 | | | 45 |

取組内容② 地域活動団体の設立及び活動支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 協働のまちづくりを推進するために、地域活動団体の公益的な取組に対して補助金を交付する「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」(以下「公募型補助金」という。)の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行うことで、地域力の向上を図っていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 既存の地域活動団体(1団体)に対して公募型補助金の交付を行いました。 また、公募型補助金制度については、1団体あたりの交付回数が原則3回となっていました。新たな事業に取り組む場合には、引き続き本補助金制度を活用できるように補助金制度の見直し(要綱改正)を行いました。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：57千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 公募型補助金については、制度の見直しの検討を行うなど、活用しやすくなるための工夫を行いながら実施しており、改善が必要な点に対応しながら取組を推進できたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き公募型補助金の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行っていきます。また、公募型補助金制度については、引き続き調査・研究を行い、地域活動団体の設立や発展につながるよう適宜改善を図っていきます。</p> |

| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 新規地域活動団体年間設立数(累計)【団体】 | - 対前年増減→ | 1 +1 | 2 +1 | 3 +1 | 3 ±0 | | | 20 |

取組内容③

上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|--|-------------|--|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的に、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、団体からの申請に応じて補助金の交付を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は1団体からの申請があり、上牧町協働のまちづくり公募型補助金審査判定委員会に諮った結果、地域活動団体（1団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。</p> <p>また、本補助金制度については、1団体あたりの交付回数が原則3回までとなっていました。新たな事業に取り組む場合には、引き続き本補助金制度を活用できるように補助金制度の見直し（要綱改正）を行いました。</p> <p>さらに、上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会を通じて本制度の周知を図るなど、制度の広報にも努めました。</p> <p><実施事業（R06）> ●自由提案事業補助金 ①上牧町在住外国人交流事業（団体名：Together）【補助金交付額27,725円】</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：57千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 公募型補助金の申請件数については減少傾向となっておりますが、令和6年度においては本補助金制度の見直し（要綱改正）を行い、改善が必要な点に対応しながら取組が進められたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会にヒアリングを行うなど、ニーズの把握に努めるとともに、他市町村の事例を参考にするなど、募集の枠組みの再構築を視野にいたした調査・研究を進めていきます。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）【件】 | 3 対前年増減→ | 5 +2 | 2 -3 | 4 +2 | 1 -3 | | | 7 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 3

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-------|
| 基本目標 | 3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 担当課 |
| | 3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進 | 社会教育課 |
| 基本的方向 | 上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。 | |
| 施策 | ① 地域活動の支援・促進 | |

2. DO (実施結果) / CHECK (評価) / ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

| 取組内容① | 歴史ガイドボランティアの養成 | |
|--|----------------|--|
| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 町民が歴史資産の価値や魅力を再認識し、郷土の誇りとして感じられるように、町民の共有財産として保全し、後世に受け継ぐとともに、魅力の発信に取り組めます。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 令和5年9月に上牧町歴史ガイドボランティアの会を発足し、令和6年度は町内や近隣市町村の歴史や文化財について学ぶ研修会を計12回実施しました。 8月には奈良県ウォーキング協会からの依頼で片岡城跡のガイドを行ったことに加え、河合町の老人ホーム入所者が上牧町内の散策に来られた際に案内を行いました。 さらにペガサスフェスタやさくら祭りでは、ペガサスホールのロビーにおいて、史跡上牧久渡古墳群をはじめとする町内の文化財の解説や、史跡上牧久渡古墳群から出土した画文帯環状乳神獣鏡のレプリカに触れる体験やクイズコーナーなどを設営し、啓発活動を行いました。 また、「WEST NARA(広域観光推進協議会)」へのガイドコースの提案や令和7年4月の大阪万博への上牧町のブース設置に向けて計画を進めました。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・生涯学習推進事業：41千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 外部からのガイド依頼があれば積極的に取り組んでいただいています。またペガサスフェスタなどでは幅広い世代に積極的な啓発をしていただいておりますので、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 外部からのガイド依頼があれば積極的に受けて、経験を積んでいただく予定です。 また、町内のガイドツアーの企画など、会が自主的に運営できるよう活動を進めていきます。</p> |

| 成果指標 (KPI) の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-------------------------------|--------------|----------|----------|----------|----------|-----|-----|--------|
| 歴史ガイドボランティアの養成人数(目標年度終了時点)【人】 | 18 対前年増減→ | 17 -1 | 16 -1 | 14 -2 | 17 +3 | | | 30 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 3

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|-----|
| 基本目標 | 3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる | 担当課 |
| | 3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進 | 総務課 |
| 基本的方向 | 上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。 | |
| 施策 | ② 防災・防犯活動の支援・促進 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 防災訓練の実施及び近隣自治体との広域連携

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----|---|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 防災訓練の実施支援や近隣自治体との広域連携を行うことで、町の防災力向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 上牧町自主防災ネットワークから上牧町防災事業補助金の申請がありました。当該団体は、補助金を活用し研修などを実施しています。 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり(5月26日)にて、上牧町自主防災ネットワークと協力し、上牧町の防災ブースを設けて、非常用プライバートtentとラップ式トイレの展示を行いました。 また、ベガサスフェスタにて防災備蓄品の配布も行いました。 上牧第二中学校において、避難所開設訓練に加え、陸上自衛隊、西和警察署、奈良県広域消防組合西和消防署及び防災関連事業者の協力を得て、上牧町総合防災訓練を実施しました。</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 ・自治会防災事業：2,284千円 ・かんまき自主防災ネットワーク事業：100千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり、ベガサスフェスタにて防災備蓄品の配布及び上牧町総合防災訓練を実施したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も防災訓練の実施支援などを行い、地域の防災意識の向上を図っていきます。 広域連携について、引き続き北葛城郡各町と協議を進めていきます。</p> |

| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-----------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 地域防災訓練の支援回数(年間)【回】 | - | 1 | 2 | 2 | 3 | | | 3 |
| | 対前年増減→ | +1 | +1 | ±0 | +1 | | | |
| 広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数(年間)【回】 | - | - | - | - | - | | | 1 |
| | 対前年増減→ | - | - | - | - | | | |

取組内容② 子ども防災意識の向上

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要(背景・目的等)】 災害時において命を守る行動を行えるよう、子どもたちの防災意識の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果(R06)】 地震発生を想定して、県内一斉に1分間身を守る行動を行う『奈良県いっせ地震行動訓練(ナラ・シェイクアウト)』に本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校が参加しました。(7月9日) 上牧町総合防災訓練では、避難所開設訓練や防災ヘリでの救助活動の演習など、防災に触れる機会に多くの子どもたちが参加し、啓発を行いました。 また、ベガサスフェスタでは、子ども向けの消防防災に関する子ども向けの啓発物品の配布を行いました。奈良県広域消防組合西和消防署と協力し、消防防災に関する啓発を行いました。(11月3日ベガサスフェスタ)</p> <p>【事業費(決算額：R06)】 予算計上なし</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 ベガサスフェスタ及び上牧町総合防災訓練で啓発を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、子どもたちの防災意識の向上を図るためイベントや教室の開催、水消火器を使った子ども向け防災訓練などを積極的に行っていきます。</p> |

| 成果指標(KPI)の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|-------------------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 子ども防災意識の向上教室の開催数(年間)【回】 | - | - | 1 | 1 | 2 | | | 1 |
| | 対前年増減→ | ±0 | +1 | ±0 | +1 | | | |

取組内容③ 防犯活動の支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 防犯カメラの設置や防犯パトロールなどを行うことで、町内の犯罪を未然に防ぐ役割を担います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく、防犯パトロールの強化を実施しました。 防犯カメラについては、県道14号線桜ヶ丘3丁目住宅街入口交差点付近、山入橋交差点付近、外町橋交差点付近、新橋交差点付近に新しく設置を行い、合計41台の設置を実施しました。 交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・防犯カメラ設置事業：2,365千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 適正に事業を実施できたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も青パトによる防犯パトロールや立哨活動による防犯体制の強化を図り、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行っていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|--------------|--------------|----------|----------|----------|----------|-----|-----|--------|
| 防犯カメラ設置台数【台】 | 24 対前年増減→ | 30 +6 | 36 +6 | 37 +1 | 41 +4 | | | 36 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 4 誰もが働きやすい環境をつくる | 担当課 |
| | 4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援 | 企画財政課 |
| 基本的方向 | 共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。 | |
| 施策 | ① ハローワークや町内事業者と連携した就職支援 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就職準備セミナーの開催

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 ハローワークと連携し、町民の様々なライフスタイルに対応できる就職情報を発信していくほか、出産後に再就職を希望する女性などを対象にした就職準備セミナーの開催を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ハローワーク大和高田と財務省奈良財務事務所と共同で、育児期間中でなおかつ求職中の人を対象に、「仕事と育児の両立支援セミナー（旧名：マザーズセミナー）」を開催し、6名の参加がありました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | B | <p>【評価の理由・根拠】 セミナーの開催は出来ている一方で、セミナーの参加人数が低迷しており、より多くのかたに参加いただけるような魅力あるセミナーを企画する必要があると考えていることから評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、ハローワークと連携を図りながら事業を進めていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|------------------------|--------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| 就職支援セミナー等への参加者数（年間）【人】 | 15 対前年増減→ | 8 -7 | 2 -6 | 8 +6 | 6 -2 | | | 30 |

取組内容② 町内事業者とのマッチング支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|---|----------|--|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 ハローワークと連携し、町内事業者とのマッチング支援を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 町内事業者とのマッチング支援については、今後の取組方針を検討中で、令和6年度は実施できていません。（以前は、就職準備セミナーの中で、子育てママ就業支援事業で連携していた事業者の仕事内容や求人情報について紹介していただく機会を設けていたことがありました。）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | C | <p>【評価の理由・根拠】 取組を推進できていないことから評価をCとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 ハローワークと連携を図りながら、取組の方向性についての検討を進めていきます。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|---------------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| マッチングイベント等参加事業者数（年間）【事業者】 | 1 対前年増減→ | - -1 | 1 +1 | - -1 | - ±0 | | | 3 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|--------|
| 基本目標 | 4 誰もが働きやすい環境をつくる | 担当課 |
| | 4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援 | こども未来課 |
| 基本的方向 | 共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。 | |
| 施策 | ② 子育てしながら安心して働ける環境の整備 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育てと就労の両立支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|---|--------------|---|----------|------------|------------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 安心して共働きできる環境の整備を目的に、子育てと就労の両立支援として、病児・病後児保育と放課後児童健全育成事業を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 「いちごルーム」「ぞうさんのおうち」「ぼっぼ」の合計3カ所を実施し、利用者が自由に利用選択できるため、利便性の確保ができました。「いちごルーム」の案内ポスターやチラシを保育所・学童保育所・2000年会館などに掲示し周知を図りました。 「いちごルーム」において、令和6年度から事務局として2年間、実務をしています。 放課後児童健全育成事業として、就労形態の多様化に伴う保育需要に対応するため、町内の学童保育所において保護者が共働きの家庭などにより放課後や夏休みなどの長期休業日に家庭で保育が受けられない児童を対象として、適切な遊びや生活の場を提供しました。また、令和5年度夏休みより、学童保育開始時間を従来の8時から7時30分とし開設時間の延長を実施して子育て支援の充実を図っています。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・病児・病後児保育事業：2,678千円 ・いちごルーム事務局総事業費：24,802千円 ・学童保育運営事業：41,039千円</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 病児・病後児保育事業において、利便性や地域特性上、利用施設の偏りはありましたが、全体として新規登録人数は増加しました。また、昨年度と比較して、利用人数も増加しています。利用施設を選択利用できるため、選択肢が増え、利用しやすい環境作りができました。 学童保育所では共働き家庭など保護者のニーズに応えるために引き続き開設時間の延長を行うことで、利用者数が増加しており安心して子育てができるようサポートできたと考えるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 病児・病後児保育事業について、引き続きポスターやチラシの掲示を行い、利用の促進をしていきます。共働き世帯の増加などにより利用ニーズも増加すると予想されるため、引き続き登録人数を増やし、仕事と子育ての両立の支援ができるよう周知します。 上牧第三小学校学童保育所においては教育委員会部局の協力を得て学校の特別教室の一部を利用し、利用定員を増やして受け入れをしている状況です。今後も受け入れについては柔軟に検討し、仕事と子育ての両立を支援します。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 病児・病後児保育施設登録者数【人】 | 77 対前年増減→ | 84 +7 | 93 +9 | 112 +19 | 136 +24 | | | 120 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|---|-------|
| 基本目標 | 4 誰もが働きやすい環境をつくる | 担当課 |
| | 4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援 | 企画財政課 |
| 基本的方向 | 共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。 | |
| 施策 | ② 子育てしながら安心して働ける環境の整備 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育てママ就業支援事業の実施

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 |
|--|----------|---|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 子育てをしながら柔軟に働くことができる環境を確保することが求められています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ラスバ西大和において子育てママ就業支援事業を実施してきましたが、令和6年3月末をもってママスクエアが撤退したことに伴い、終了しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | C | <p>【評価の理由・根拠】 ラスバ西大和にて展開していた子育てママ就業支援事業において、ママスクエアが撤退し、それに替わる新たな取組の検討ができていないため、評価をCとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 他市町村の事例を参考に、子育てをしながら働くことができるような支援策を検討します。</p> |

| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
|----------------------------|----------------|---------------|--------------|--------------|------------|-----|-----|--------|
| 子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）【人】 | 26 対前年増減→ | 45 +19.0 | 46 +1.0 | 53 +7.0 | - -53.0 | | | 50 |
| 子育てママ就業支援施設稼働率（年間）【%】 | 53.9 対前年増減→ | 83.6 +29.7 | 78.9 -4.7 | 80.0 +1.1 | - -80.0 | | | 70 |

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和6年度事業

1. PLAN (計画)

| | | |
|-------|--|----------|
| 基本目標 | 4 誰もが働きやすい環境をつくる | 担当課 |
| | 4-2 新たな雇用創出の支援・促進 | まちづくり推進課 |
| 基本的方向 | 地域資源を生かした商品開発を支援し、新たな魅力づくりを促進することで、地域産業の活性化を図るとともに、関係機関と連携しながら、販路の確保や事業者育成に取り組み、新たな仕事や雇用の創出を促進します。また、農業においても、生産性の向上や経営の安定化を支援し、農産物の高付加価値化を進めるとともに、多様な担い手の育成・確保を図ります。 | |
| 施策 | ① 地域産業の活性化と担い手の育成 | |

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|---|-------------|--|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 新たに本町で就農されるかたへの支援策を模索するとともに、朝市などの新鮮農産物の産地直売体制を支援し、販路の確保や上牧町の農産物の認知度向上につなげます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 就農支援については、農業委員会を通して各大字ごとの若い世代のかたに声かけを行いました。結果、1人の新規就農者候補を発掘できました。産地直売体制への支援の面では、上牧ふれあい朝市会に対し、場所の提供、開催日の案内ポスター作成などの支援を行い、1人の新規協力を確保しましたので、朝市の会員数は合計22人となりました。また、上牧ふれあい朝市会の会員が作っている玉ねぎを、商工会が販売している「上牧黒カレー」に使用し地産地消につなげました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 上牧ふれあい朝市会への場所提供、開催日の案内ポスター作成などを行い、1人の新規協力を確保出来ました。また、上牧ふれあい朝市会の会員が作っている玉ねぎを、商工会が販売している「上牧黒カレー」に使用し地産地消につなげたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、新たに就農されるかたへの支援策を模索するとともに、上牧ふれあい朝市会の販路確保や農産物の認知度向上に向けた取組を実施していきます。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 新規就農者数（年間）【人】 | - 対前年増減→ | - ±0 | 1 +1 | 1 ±0 | - -1 | | | 1 |

取組内容② 地域資源を活用した商品開発と販路確保支援

| 実施内容・成果 | 評価 | 今後の取組方針等 | | | | | | |
|---|-------------|--|---------|---------|---------|-----|-----|--------|
| <p>【取組の概要（背景・目的等）】 町内外に上牧町の魅力をPRすべく、地域資源を活用した新たな特産品の開発を進めるとともに、地域農産物の町内消費促進を支援するため、商業施設や地域イベントでの販売など、場と機会の確保に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえよう、ふれあい朝市会に対しペガサスフェスタなどへの販売場所の確保や周知活動など、産地直売体制を支援しました。ふれあい朝市会、商工会、学校、教育総務課、まちづくり推進課の5者で地産地消を目指した町内の幼稚園、小中学校の給食に地元の食材を使用することについて協議・検討しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p> | A | <p>【評価の理由・根拠】 ふれあい朝市会への販売場所の確保や商工会、教育委員会部局と地産地消を目指した協議・検討を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続きふれあい朝市会に対しペガサスフェスタなどでの販売場所の確保や幼稚園、小中学校の給食に地元食材を使用した地産地消の取組を引き続き協議していきます。また、黒カレーに次ぐ第2、第3の新たな地域特産品の開発支援をしていきます。</p> | | | | | | |
| 成果指標（KPI）の状況 | 基準：R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 目標：R08 |
| 新たな地域特産物（累計）【品目】 | - 対前年増減→ | - ±0 | - ±0 | - ±0 | - ±0 | | | 2 |